

所管課		産業経済部農林課													
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策								
	第3章 元気創造都市			12 林業			01 安定的な林業経営を支援する								
事業：林道整備事業													整理 番号	0242	
目 的	車両通行の安全性向上や山間地域の生活道としての利便性の向上、さらに森林施業のための林道の適正管理を行う。														
目 標	法面保護、舗装、排水工等、林道の改良を行う。														
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）		9,133		コスト 情報・ 評価	総コスト（千円）		12,519		総合 評価 A 評価理由	妥当性		A		
	財源 内訳	一般財源		2,773		事業費		9,133			効率性		A		
		国府支出金		3,360		人件費		3,361			有効性		A		
		地方債		3,000		公債費		25			原材料支援では受益者による林道整備で、原材料費のみで実施することが出来ている。				
		その他特定財源		0		一人あたり（円）		112							
						世帯あたり（円）		265							
	貢献度		施策に対する 事業貢献度			A		根拠			森林施業の基幹となる林道、作業道の整備が進み、車両通行の安全性の向上が図られた。				
今後の方向性	市施工や原材料等支援事業により、林道改良等の整備事業を計画的に進める。														

事業 優先順位		1	細事業:林道整備事業					整理 番号		03		
目 的		林道の車両通行の安全性の向上、山間地域の生活道としての利便性の向上を図る。										
目 標		法面保護、舗装、排水工等、林道の改良を行う。										
事業 実施主体		直営	事業開始 年	昭和47年度以前	根拠 法令	森林・林業基本法・森林法						
事業費・財源	財源内訳	平成25年度		平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数 内訳 参考	平成25年度		平成24年度	比 較		
		事業費(決算額)(千円)		8,473	10,124		-1,651	総コスト(千円)		10,231	12,108	-1,877
		一般財源		2,113	941		1,172	事業費		8,473	10,124	-1,651
		国庫支出金		3,360	4,883		-1,523	人件費		1,733	1,984	-251
		地方債		3,000	4,300		-1,300	公債費		25	0	25
		その他特定財源		0	0		0	一人あたり(円)		92	107	-15
				0				世帯あたり(円)		216	257	-41
				0				職員数(人)		0.20	0.25	-0.05
						再任用職員数(人)		0.10	0.00	0.10		
	今後の方向性		市施工や施設管理者への原材料等支援により、計画的な林道整備を進める。									
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	森林所有者、河内長野市民							
	A	A	A									

事業：林道整備事業

木材需要を高める生産体制を強化し林業関係者の収益性を改善するために、森林施業の基盤となる林道の改良工事と小規模な林業用施設の維持補修に必要な材料を支給した。

細事業：林道整備事業

1. 林道整備事業

市内林道の中でも利用頻度が高い林道千石谷線の路面改良（コンクリート路面工※）を実施した。この結果、間伐・造林・保育等の森林施業や木材生産の効率化・コストダウン・安全性の向上が図られると共に、岩湧山頂の文化財保護のための車両の安全・快適な通行を確保することが可能となった。

※コンクリート路面工

…構造的にはコンクリート舗装と同一であり、施工することによって自動車のタイヤの接地面積を増大させ、摩擦係数を高めるとともに、路面侵食を防止する効果がある。原則として、縦断勾配が7%を超える砂利道に適用する。

（単位：円）

工 事 名	工 事 概 要	事 業 費	財 源 内 訳		
			国府補助金	地元分担金	一般財源
林 道 千 石 谷 線 改 良 工 事	1号箇所 施工延長 L=150m コンクリート路面工 排水工 2号箇所 施工延長 L=120m コンクリート路面工 排水工	6,931,050	3,360,000	0	3,571,050
合 計		6,931,050	3,360,000	0	3,571,050

林道千石谷線改良工事

道路縦断勾配が7～16%と急勾配の上、車両通行による轍掘れや雨水の流下による路面の洗掘により、通行が困難であった林道をコンクリート舗装することによって、安全で快適な車両の通行を確保することができた。

施工前



施工後

